

【評価実施概要】

事業所番号	174200204		
法人名	中小企業等協同組合法人 別海厚生企業組合		
事業所名	グループホームすずらん		
所在地	北海道野付郡別海町別海鶴舞町6-45 (電話)0153-79-5545		
評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	札幌市中央区南1条西5丁目7番愛生館ビル601号		
訪問調査日	平成20年2月18日	評価確定日	平成20年3月28日
【情報提供票より】平成19年12月14日事業所記入)			
(1) 組織概要			
開設年月日	平成16年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤	14人, 非常勤 5人, 常勤換算 19人
(2) 建物概要			
建物構造	木造り		
	2階建ての ~ 1階部分		
(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	20,000 円
敷金	有( 円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(4) 利用者の概要( 2月 18日現在 )			
利用者人数	18 名	男性	3 名 女性 15 名
要介護1	3	要介護2	4
要介護3	8	要介護4	3
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 84,7 歳	最低	73 歳 最高 94 歳
(5) 協力医療機関			
協力医療機関名	別海町立病院、ウエル歯科		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームすずらんは、別海町役場から東南東約1,6kmに位置し、南方約500mに雪印乳業別海工場がある。ホームの周囲北側は新興住宅地団地で住宅が立ち並びその他は空地となっている。大きめに作られた間取りの居間兼食堂を挟んでの2ユニットであり、入居者は生活空間も明るく、広く住みよい環境の中でのびのび暮らしている。職員は入居者一人ひとりとなじみの関係づくりに配慮してゆったりと支援し、入居者や家族とのコミュニケーションも良く、従って家族の訪問が非常に多い。地域交流も盛んで、地域の祭りに積極的に参加し、ホーム内の行事にも多くの人が参加している。入居者が「これからも長く住み続けたい」と話していた。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	運営理念は玄関に大きく標示している。壁には適度な高さに時計、カレンダーがあり、季節を表す飾りつけ(ひな飾り)をしている。介護計画も介護支援専門員を中心に入居者や家族の要望を取り入れながらスタッフ全員で取り組み、変化にも対応できるよう改善している。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、管理者と各ユニットの主任が中心となり、全員の意見を取り入れながら管理者が記録し、自己および外部の評価の結果については月1回のミーティングで話し合い改善に取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議設立については、更なるサービスの質の向上を図るため設立を目指し、検討している。(なお、評価調査後、事業者との評価同意確認過程で、3月15日に第1回の会議が開催され、地域連携について本格的に活動を開始している。)
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居時にホーム内の苦情窓口があることを知らせている。入居者は地元が多く家族が頻りに訪問する機会を利用して、体調の変化や暮らしの様子、金銭管理の状況を報告し、又入居者及び家族の苦情や要望を聞きスタッフ会議で討議し改善している。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域唯一のグループホームであり、入居者は地元が多く、職員と地域との顔見知りが多い。ホームの行事に家族や多くの地域の人が協力や参加もしている。ホームも地域の行事に積極的に参加している。従って地域との交流は深まっている。

## 評価結果（詳細）

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	独自の運営理念において、入居者が地域と共に暮らし続けることを実践している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の掲示板は見やすい位置に掲示しており、スタッフ会議やケアプラン会議において理念の実践に向けて話し合っている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	入居者は地元が多く、町内会や地域の活動に積極的に関わっている。又ホームの行事にも多くの地域の協力や参加もあり、ボランティアの協力もある。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は管理者と各ユニットの主任が中心となって全職員の意見を聞いて作成し、外部評価の結果をスタッフ会議で応答し改善に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は立ち上げるため、現在検討中である。(評価結果同意過程で去る3月15日、第1回目の会議が開催され、本格的な活動が始められている。)</p>	○	<p>運営推進会議は、入居者の状況やサービスの実際、自己及び外部評価の取り組みや結果について報告や話し合いを行い、そこでの意見はサービスの向上に役立ちますのでただちに設立に向け取り組んで欲しい。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括支援センターは町営であり、町の指導を受けながら連携を図っている。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>入居者家族の訪問時や月1回発行の「すずらんだより」により入居者の健康状況や暮らしぶり、金銭管理、ホームの状況など報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者や家族の苦情や要望について窓口を設けて対応し、又町役場など外部にも苦情相談窓口があることを知らせている。日頃から入居者や家族との話し合い等して意見を聞いて運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は、管理者のみでその他の異動はない。職員の異動については入居者に不安を与えないように配慮している。</p>		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>入所時の新人研修を実施している。各種の会議を通じ認知症に関わる福祉介護について研修している。職員の学習意欲があり、介護福祉士の資格取得に向け個人勉強している職員もあり、受験しやすいよう勤務表などで工夫している。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>町内唯一のグループホームであり、地域内の交流はないが、個人的に根室中標津管内のグループホームを訪問し交流を図っている。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居については本人、家族に事前に十分な説明を行ったり、体験入居を行い職員や入居者と馴染めるように配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は入居者の協力を得ながら食事作り、後片付け等共に行い、家庭菜園も入居者から栽培技術を伝授され支えあう関係を築いている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p> <p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は入居者一人ひとりと馴染みの関係を作り、気楽に話し合っており、入居者の喜ぶ顔を望むようになっている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は介護支援専門員が入居者一人ひとりの状況を把握し、入居者や家族そして各ユニットの主任や職員と相談しながら作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員は入居者の日頃の健康状態や変化がある時、又職員、家族から申し出があった時は、入居者、家族、職員、必要によりかかりつけ医と相談し、いつでも介護計画を見直している。</p>		
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者や家族の要望により定期健診、美容院、買い物などに職員が付き添うなど、出来る限り要望に応じている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	医療機関は町内1ヶ所の町立病院で入居者全員がかかりつけとなっており相談しやすい環境となっている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者の重度化についての対応は、入居者や家族と事前に話し合う事になっている。職員も重度化した場合は十分なケアが出来るように医師と相談する仕組みがある。</p> <p>終末期に向けた対応はマニュアルはないが検討中である。</p>	○	終末期に向けた対応については入居者、家族、町立病院、町、との関わりについてどう進めるか、引き続き検討してほしい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	日頃から言葉遣いに注意しており、職員会議においてもプライバシーの確保の徹底について話し合っている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	入居者一人ひとりが日々ペースに合わせてゆったりと暮らしており、職員はペースを大切に出来るような支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は入居者と共同作業で行い、それぞれ得意な調理を手伝っている。又食膳の準備、配膳もし、職員と一緒に談笑しながら食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴できるように準備をしており、希望を聞きながらその人の時間に合わせて支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者や家族から生活歴を聞き、出来ることは日常の仕事として張り合いのもてるものを見つけ出すなどアセスメントをしっかりと行い支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	地域の行事には集団で参加しているが、その他は町内に大きな店舗もなく外出も限られている。入居者の要望により外食、買い物、美容院など支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	施設の内外全てに鍵はかけない取り組みを実践している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	消防訓練は年2回行っている。職員も任務分担を把握している。訓練に町内会の協力がある。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	入居者の食事量、水分摂取量、食事スピード、咀嚼など観察し、体調の変化に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	入居者の生活空間は明るく、広く住みよい環境の中でのびのび暮らしている。季節に合わせた花や飾りつけもしている。		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	居室にはそれぞれ馴染みの家具が置いてあり、好きな鉢植えもあり、生活を楽しんでいる。		

 は、重点項目。